INAX

保証書付
（裏表紙）

アメージュM脱臭便器

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

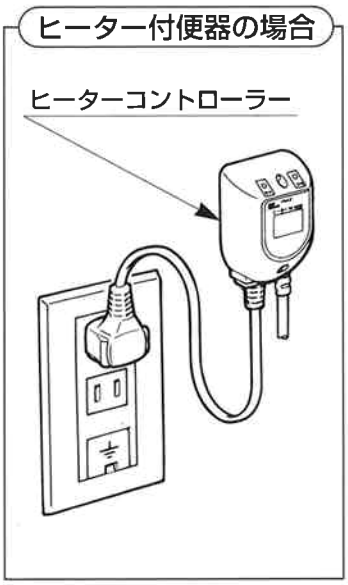
説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

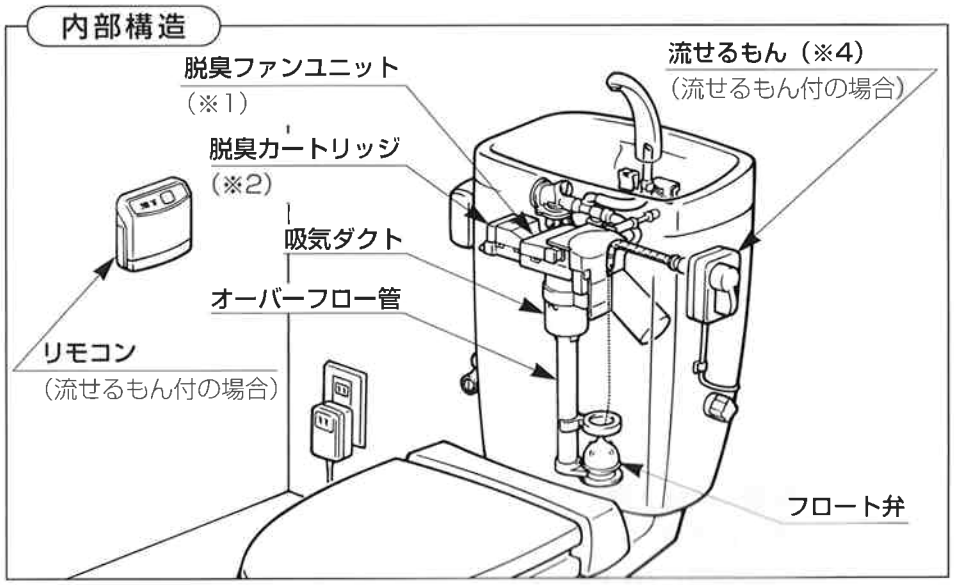
転居される場合、
次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

各部の名称…… 1
安全上の注意（お使いになる前に必ずお読みください。）…… 2
お使いになる前に確認してください…… 4
ご使用方法…… 5
お取扱い上の注意…… 7
お手入れ方法…… 11
長期間使用しない場合…… 18
冬期凍結の恐れがある場合…… 19
修理を依頼される前に…… 21
アフターサービス…… 22
仕様…… 23
別売品のご案内…… 24
保証書……裏表紙

各部の名称





※1　脱臭ファンユニット……ニオイを吸収するためのファンです。
※2　脱臭カートリッジ……ニオイの成分を吸着・除去するカートリッジです。
※3　着座センサー……自動的にファンを作動させるために、着座を検知するセンサーです。
（流せるもん付の場合は、ここでリモコンを受光して流せるもんを作動させます。）
※4　流せるもん……洗浄ハンドルを電動で回転させて便器洗浄を行います。

安全上の注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・ 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・ 「分解してはいけません！」

・・・・ 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

・・・・ 「指示した場所に触れてはいけません！」

・・・・ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

・・・・ 「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

⚠注意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

着座センサーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用するとショートや感電の原因となります。

樹脂部のお手入れには、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用おそうじティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショート・発火の原因となります。

便フタや便座の上に乗らないでください。
※破損してケガをすることがあります。

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

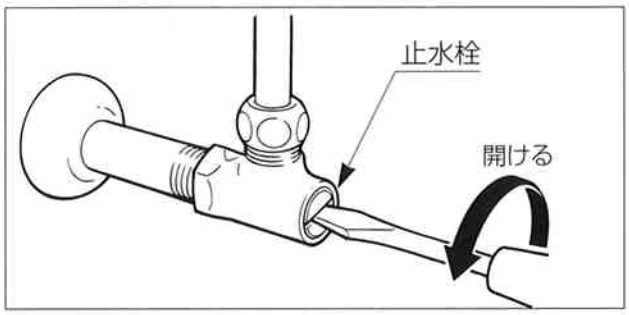
お使いになる前に確認してください

便器が設置されてから、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1.止水栓は開いていますか？

1.洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を行い、ロータンクに給水することを確認します。
※便器洗浄後、しばらく給水音がします。また、手洗付は、手洗吐水口から水が出ます。

2.もし、給水していないときは、止水栓が閉まっていますので、止水栓を左に回して開けます。

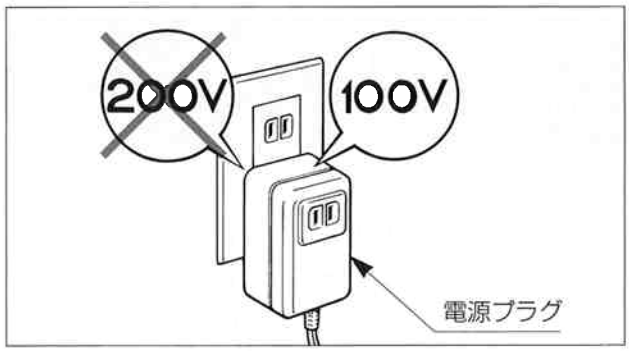


2.電源プラグをコンセントに接続します。

電源プラグを交流（AC）100Vのコンセントに根元まで確実に差し込みます。

⚠ 注意

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。



ご使用方法

■脱臭機能について

1 便座に座ると脱臭を開始します。

2 便座から立ち上がると約1分後に自動停止します。

※ 人が便座に座ると着座センサーがこれを検知し、脱臭ファンが作動してニオイを吸収・除去します。

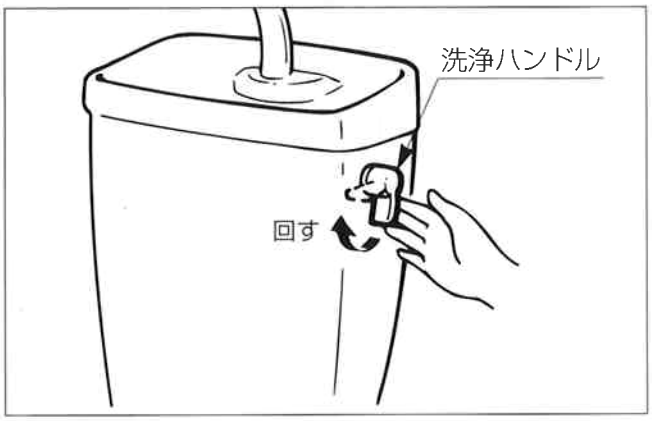
※ ロータンク内部にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。（☞14ページ）

■便器鉢内の洗浄について

《手動の場合》

●洗浄ハンドルを操作します。

ロータンク側面にある洗浄ハンドルを手前に回します。



《流せるもん付の場合》

●便器自動洗浄

リモコンの流すスイッチを押します。

※ 流せるもんの洗浄ハンドルが動作して、便器鉢内の洗浄を行います。

■便座について

便座の使用方法につきましては、便座の取扱説明書をご覧ください。

■知っておいていただきたいこと

着座センサーについて

この便器には、脱臭機能を自動で作動させるために、人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
便座に座り、上体をまっすぐにすると検知しますが、かがんだり、横の壁にもたれたりすると、検知しなくなる場合があります。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

脱臭中、便器にラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置まで離して使用してください。

流せるもんについて（流せるもん付の場合）

●作動中に停電が起きた場合

流せるもんが作動中に停電が起きると、洗浄ハンドルが途中で止まり、洗浄水が流れっ放しになることがあります。このようなときは、下記の手順に従ってハンドルを元に戻してください。

(1) 洗浄ハンドルを引っ張りながら下に降ろして洗浄水を止めます。このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。
(2) 停電が終りましたら、リモコンの流すスイッチを押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルを通常の位置まで戻します。

●ロータンク内の水抜きをする場合

凍結防止や、長期間使用しない場合の水抜きは、下記のように行ってください。

(1) 止水栓を閉めます。
(2) 洗浄ハンドルを引っぱりながら、奥に回します。このとき、洗浄ハンドルが固定されて、ロータンク内の水が抜けます。

再使用時には、洗浄ハンドルを引っぱって降ろし、止水栓を開けます。

お取扱い上の注意

■安全のために守ってください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

⚠注意

樹脂部のお手入れには、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用おそうじティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。

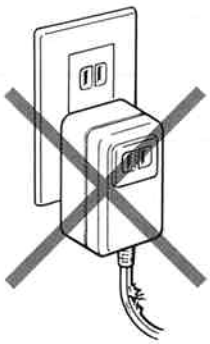
バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

着座センサーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用するとショートや感電の原因となります。

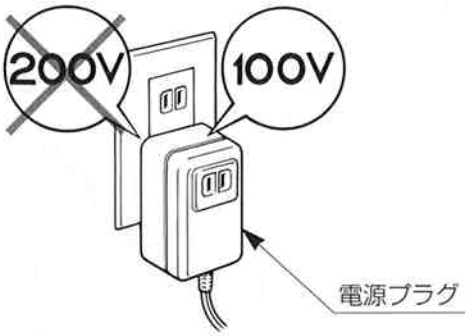
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠注意

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。



交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。



便フタや便座の上に乗らないでください。
※破損してケガをすることがあります。

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

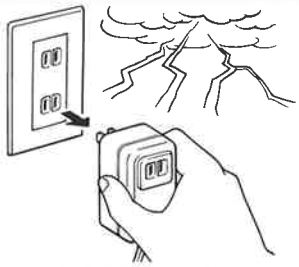
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。

小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。

ご使用中に普段と異なる音や煙、ニオイなどがしたら、ただちに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室・㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。

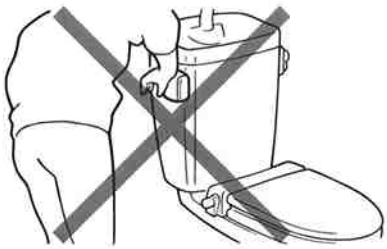
■故障を起こさないために守ってください。

●雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※事故や故障につながる場合があります。



●樹脂部にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※変色や故障の原因になります。

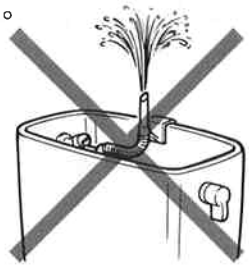
●着座センサーや流せるもんに荷重を加えたり、乱暴に扱わないでください。
※破損や故障の原因になることがあります。



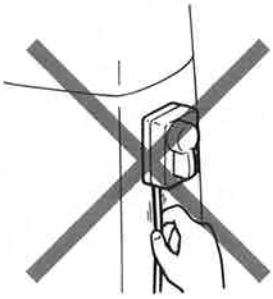
●直射日光が当たらないようにしてください。
※樹脂部が変色することがあります。

●手洗付の場合、手洗鉢に飾り物を置かないでください。
※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

●手洗付の場合、ロータンクフタを外したままご使用にならないでください。
※手洗用の水が周囲に飛び散り、床や壁を汚します。

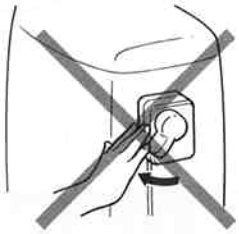


●コード類を引っぱらないでください。
※破損や故障の原因となります。



●手洗付の場合、手を洗うときは石けん等を使わないでください。
※ロータンクの内部に石けんが入り、故障の原因になります。

●流せるもん付の場合、自動洗浄が作動している際、洗浄ハンドルを無理に止めないでください。
※破損や故障の原因になります。



●鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って便器鉢内に落としたときには、水を流す前に必ず拾い出してください。
※便器が詰まり、汚水があふれる原因になります。

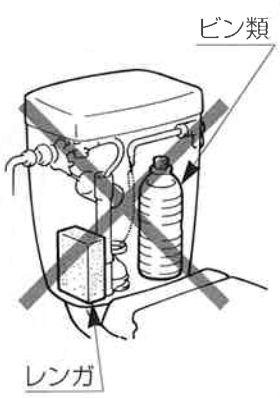
●便器には新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等は流さないでください。
※便器が詰まり、汚水があふれる原因になります。
必ず、トイレットペーパーをご使用ください。

●万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
※詰まったまま水を流すと、**便器から汚水があふれます。**

●便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、樹脂製のブラシで掃除してください。

●ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また、熱湯をそそがないでください。
※破損や漏水の原因になります。

●節水のためにロータンク内にビンやレンガ等の異物を入れないでください。
※内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。
※水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし、汚水があふれる原因になります。



■結露の注意

室温と便器タンクの表面温度差や湿度により、便器・タンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。
※結露水は床のしみや破損の原因になります。
※防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

お手入れ方法

便器や付属金具、便座はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、部品によっては、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

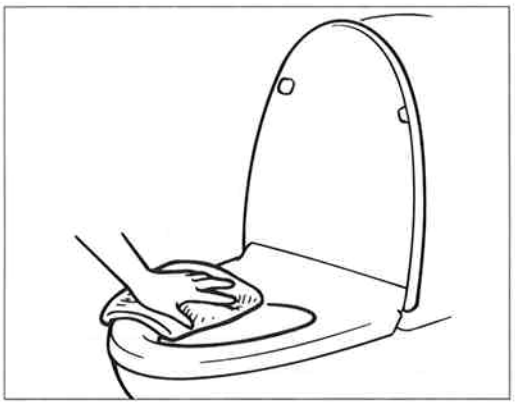
なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますのでお使いにならないでください。

注意

お手入れをするときは、事故防止のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

着座センサーや便座・便フタ（樹脂部）のお手入れのしかた

樹脂部は、柔らかい布で水ぶきをしてください。



頑固な汚れには**シャワートイレお掃除クリーナー（別売品）**をお使いください。もしくは、食器用中性洗剤のうすめた液（100倍程度）を布につけ、固く絞ってからふいてください。食器用中性洗剤を使用した場合には、使用後に水道水で湿らせた布できれいにふきとってください。

注意

●着座センサーをお手入れする際は、乱暴に扱ったり、無理な力を加えないでください。
※着座センサーの角度が変わる原因になります。

参考

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

⚠ 警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

⚠ 注意

樹脂部のお手入れには、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用おそうじティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。

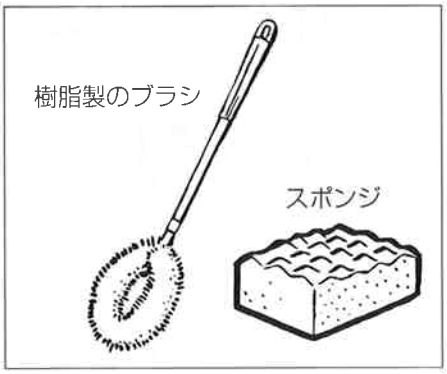
樹脂部のお手入れには、シャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。

汚れに直接スプレーし、トイレットペーパーなどでふきとるだけですからとても簡単です。

シャワートイレお掃除クリーナー
品番：CWA-20（購入方法は、24ページをご覧ください。）

便器（陶器部）のお手入れのしかた

樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

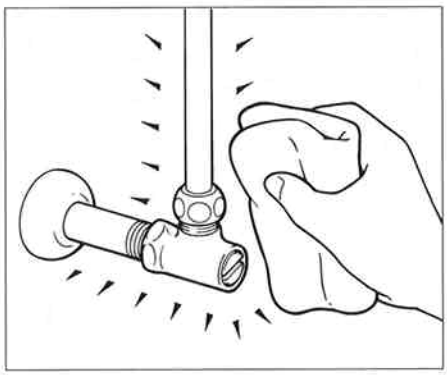


注意

- ●熱湯はお使いにならないでください。
  ※便器が破損することがあります。
- ●ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤はお使いにならないでください。
  ※表面が侵されます。

止水栓や銅管（メッキ部）のお手入れのしかた

- ●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- ●月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。



注意

- ●壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。
  ※酸性洗剤はメッキを侵します。
- ●表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。
  - ●クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
  - ●ナイロンたわし、ブラシ等
  - ●酸性洗剤、塩素系漂白剤
  - ●シンナー、ベンジン等の溶剤

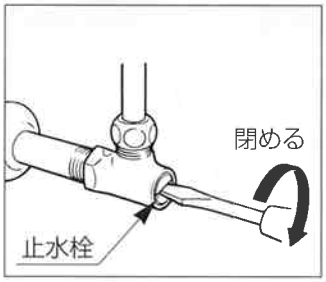
お手入れのあとは、電源プラグをコンセントに差し込み、脱臭ファンが作動することを確認してください。

■ストレーナーの掃除

便器洗浄後、ロータンクへの給水時間が長くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

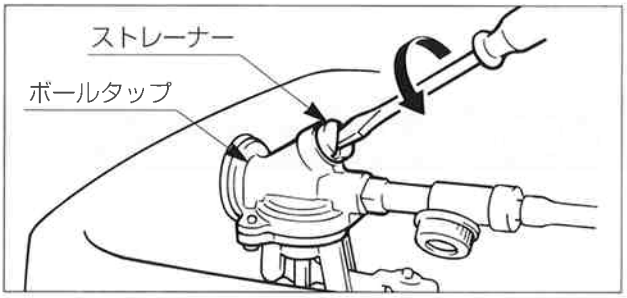
ストレーナーの掃除方法

1. 止水栓をしっかり閉め、洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜きます。
このとき、止水栓の最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。

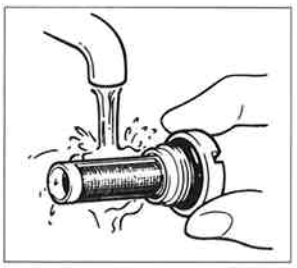


2. ロータンクフタを外します。

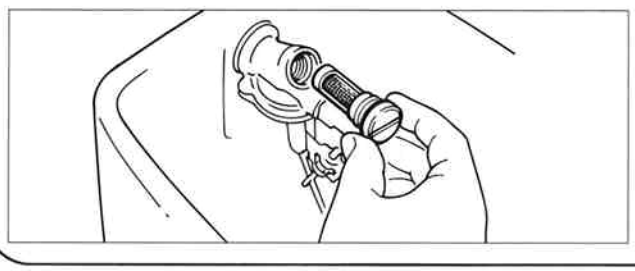
3. ボールタップの ストレーナーを回して外します。



4. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。

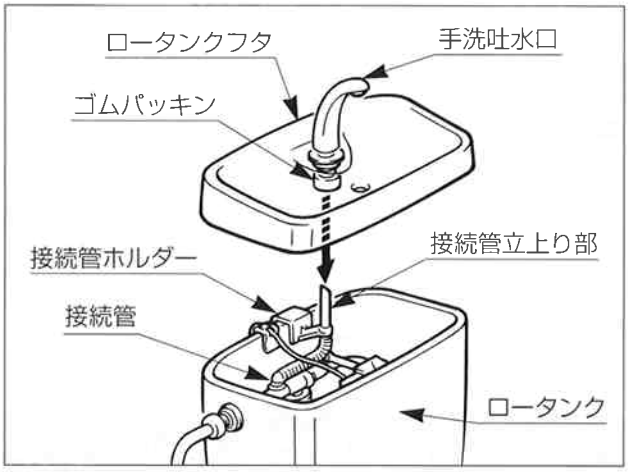


5. ストレーナーを取外しの逆の手順で確実に取り付けます。

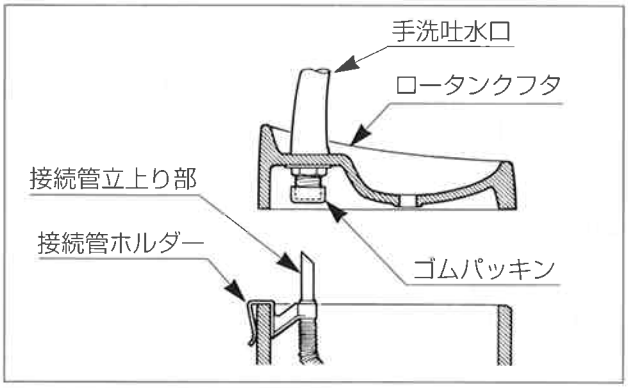


6. ロータンクフタを取り付けます。

(1) ロータンクフタを載せる前に次のことを確認します。
- 接続管ホルダーがロータンクに固定されている。
- ゴムパッキンが手洗吐水口の下のねじ部（ロータンクフタ裏側）にはまっている。



(2) 接続管立上り部を手洗吐水口のゴムパッキン内に確実に差し込みます。
※ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は接続不十分ですので再度、差し込み直してください。



7. 止水栓を元の位置まで開けます。
※最初の位置がわからない場合は、施工説明書の「止水位の確認、止水位の調節」を参考にしてください。

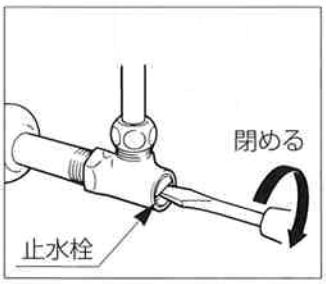
■脱臭効果が弱くなった場合

ロータンク内部に装着されている脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、脱臭カートリッジを下記の要領にしたがって清掃してください。
脱臭カートリッジを清掃しても、まだニオイが気になる場合は、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。

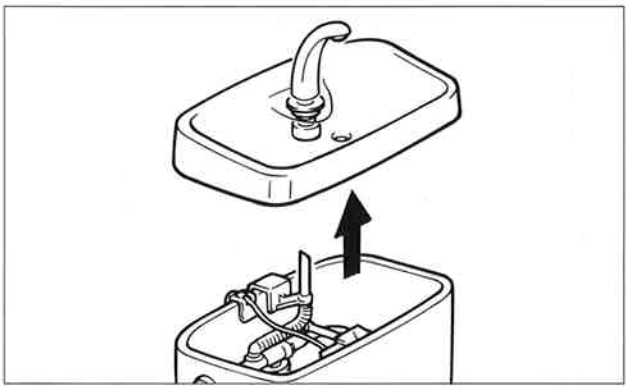
※脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

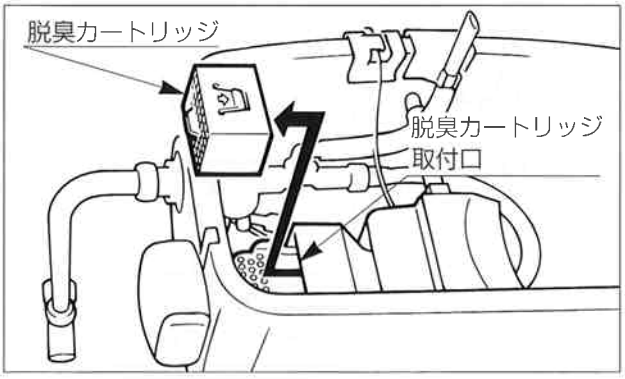
1. 止水栓をしっかり閉め、洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜きます。
   このとき、止水栓の最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。



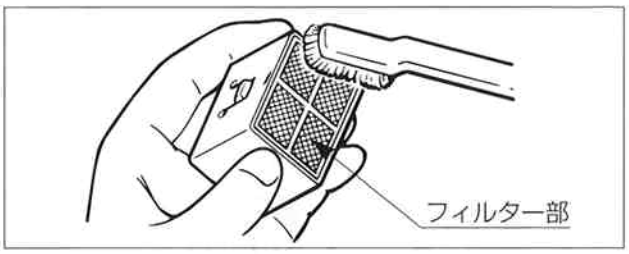
2. ロータンクフタを外します。



3. 脱臭カートリッジを脱臭カートリッジ取付口から抜きます。



4. 脱臭カートリッジフィルター部のホコリ等を歯ブラシで取り除きます。



注意

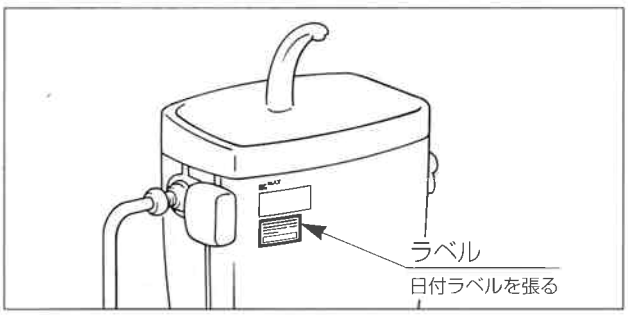
脱臭カートリッジは水洗いできませんのでご注意ください。

5. 脱臭カートリッジを脱臭カートリッジ取付口に差し込みます。

6. ロータンクフタを取り付けます。（☞13ページ）

7. 止水栓を開けます。
   ※最初の位置がわからない場合は、施工説明書の「止水位の確認、止水位の調節」を参考にしてください。

脱臭カートリッジを交換した際には、次回交換の目安として日付ラベルに使用開始日を記入の上、ロータンクのラベルに張り付けてください。



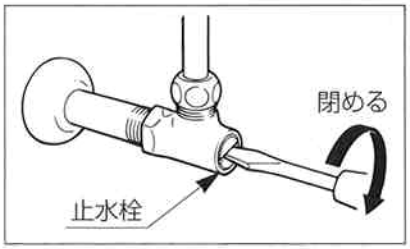
※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、24ページをご覧ください。

■洗浄水が流れなかったり、流れっ放しの場合

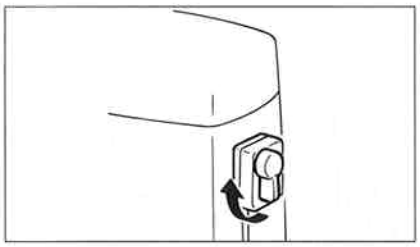
洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れ放しなどの不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

フロート弁・鎖の調節

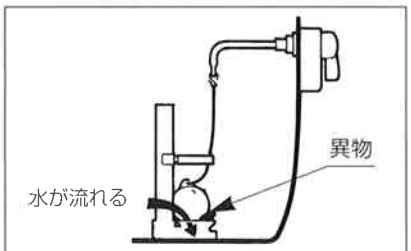
1. 止水栓をしっかり閉めます。このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。



2. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内の水を抜きます。
※洗浄水が流れない場合は、ロータンクフタを外し、中の水を汲み出すか、フロー弁の鎖を引っ張って水を流し出します。



3. ロータンクフタを外します。このとき、フロート弁の下に異物が入り込んでいたら取り除きます。

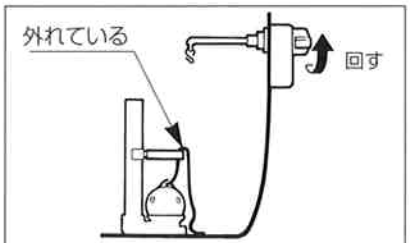


※フロート弁が浮いているため、洗浄水が流れっ放しになる。

4. フロート弁・鎖の状態を見て、鎖の調節をします。

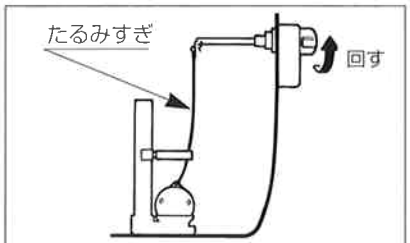
洗浄水が流れない場合

●鎖が外れている



※フロート弁が上がらないため、洗浄水が流れない。

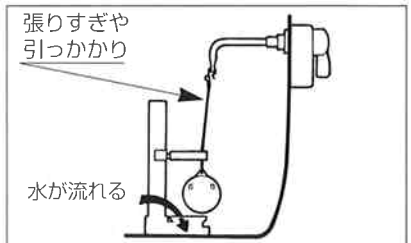
●鎖がたるんでいる



※フロート弁が上がらないため、洗浄水が流れない。

洗浄水が流れっ放しになる場合

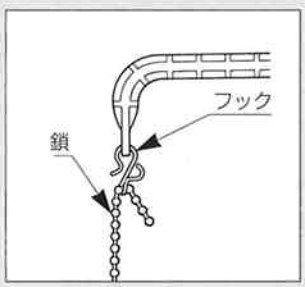
●鎖が張りすぎていたり、引っかかっている



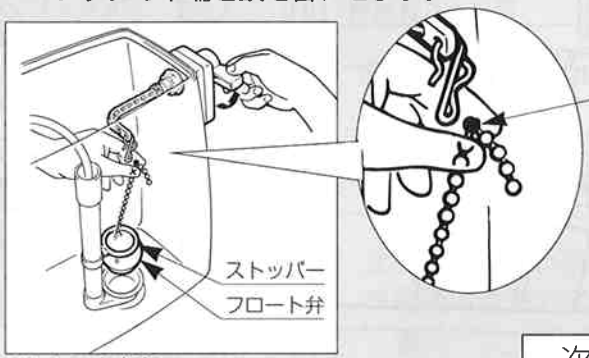
※フロート弁が浮いているため、洗浄水が流れっ放しになる。

鎖の調節の仕方

(1) 鎖をフックから外します。

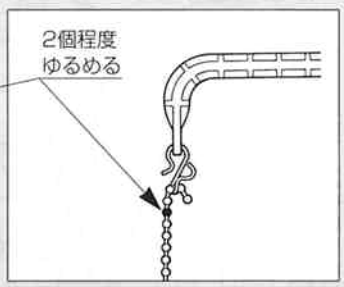


(2) 洗浄ハンドルをいっぱいまで回した状態で、フックの下端と鎖を合わせます。



※フロート弁をストッパーに当てます。

(3) 鎖を2個程度ゆるめてフックに取り付けます。

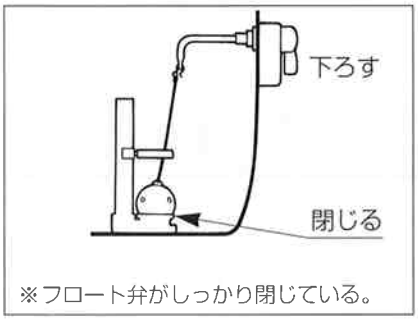


次ページへつづく

フロート弁・鎖の調節（つづき）

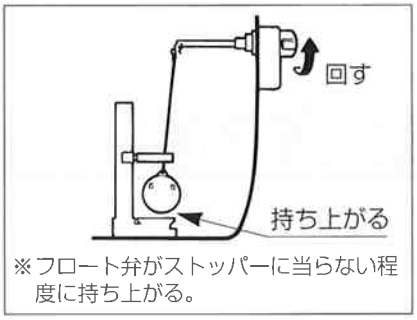
5. 鎖の調節が終ったら、次のことを必ず確認してください。

●洗浄ハンドルを下ろしたとき



※フロート弁がしっかり閉じている。

●洗浄ハンドルをいっぱいに回したとき



※フロート弁がストッパーに当らない程度に持ち上がる。

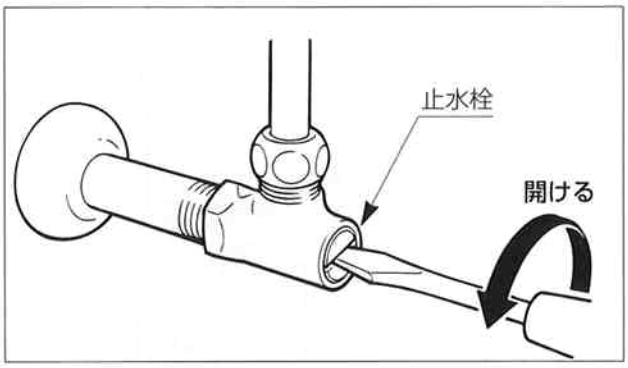
注意

鎖やハンドルレバーが浮玉等他のものに触れたり、引っかかりがないようにしてください。

※十分に水が流れなかったり、水が流れ放しとなる原因になります。

6. 止水栓を元の位置まで開けます。

※最初の位置がわからない場合は、施工説明書の「止水位の確認、止水位の調節」を参考にしてください。



7. ロータンクフタを取り付けます。
（☞13ページ）

8. 流すスイッチを押す（流せるもん付の場合）か、洗浄ハンドルを操作して便器鉢内の洗浄が正常に行われることを確認します。

■リモコンのお手入れ（流せるもん付の場合）

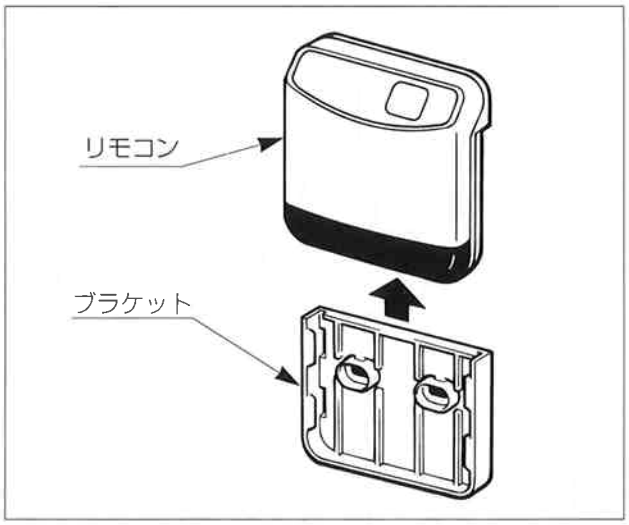
リモコンの電池の寿命が近づくと、電池ランプが点滅します。
下記の要領で、新しい電池に取り替えてください。

注意

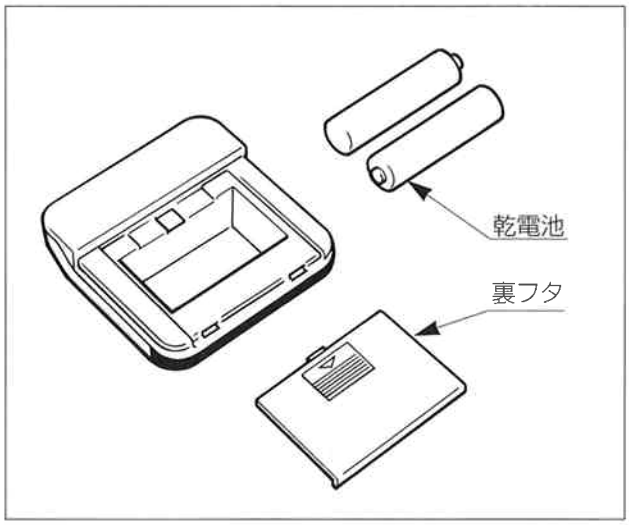
- ●電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
- ●新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- ●電池の容量が全く無くなると電池ランプが点滅しなくなります。早めに新品と交換してください。

リモコン電池の取替方法

1. リモコンを上に持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しい乾電池（1.5V単三、2本）に取り替えます。



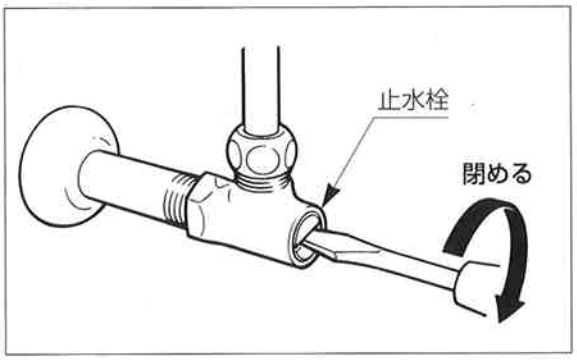
3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

長期間使用しない場合

冬期などで冷え込みが厳しいときに、旅行などで長い間使用しない場合、凍結して破損することがあります。これを防止するため、以下の操作を行ってください。特に、別荘でお使いの場合は、帰宅前に必ず行ってください。人がいない家では予想以上に室温が下がります。

水抜きおよび電源の取外し

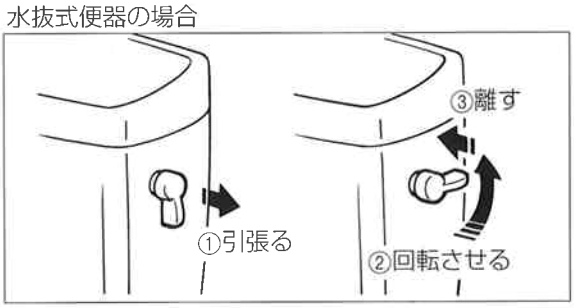
1. 止水栓をマイナスドライバーで操作して、ロータンクへの給水を止めます。
   このとき最初の位置をマークしておいてください。
   止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。
   水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。
   ※万一の故障にも漏水せず安心です。



2. 凍結の恐れがある地域では凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。ただし便器トラップ内の溜水は排出できませんので、溜水を汲み出す等の処置が必要です。

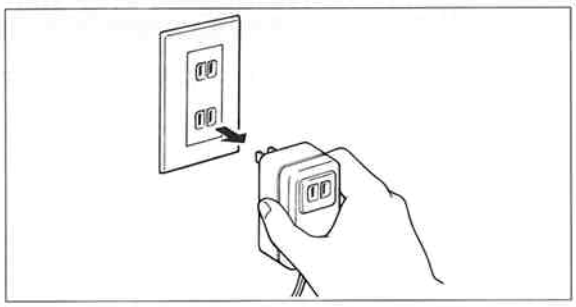
   ※水抜式便器の場合は、洗浄ハンドルを引っぱりながら奥に回します。このとき、洗浄ハンドルが固定されて、ロータンク内の水が抜けます。
   再使用時には、洗浄ハンドルを引っぱって降ろし、ロータンクへ給水します。
   （流せるもん付の場合は、6ページをご覧ください。）

水抜式便器の場合



   ※水抜式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

3. コンセントから電源プラグを抜きます。
   ※万一の故障にも安心です。



復帰する場合の手順

1. コンセントに電源プラグを差し込みます。
2. 止水栓を元の位置まで開けます。
   ※最初の位置がわからない場合は、施工説明書の「止水位の確認、止水位の調節」を参考にしてください。
   水抜式便器をお使いの方は、水抜栓を操作してロータンクへ給水します。
3. 便座に座り、脱臭ファンが作動することを確認してください。

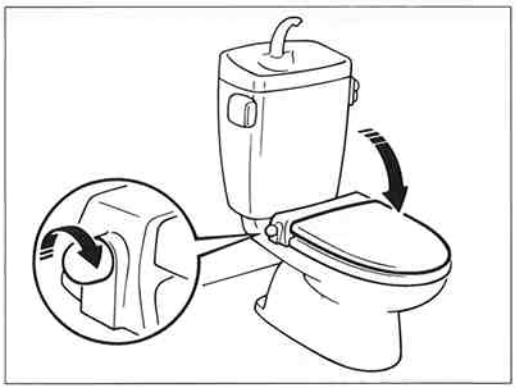
冬期凍結の恐れがある場合

冬期の凍結破損を防止するために以下の操作を行ってください。
※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

一 般 的 な 凍 結 防 止 方 法

暖房便座をご使用の場合は、暖房便座スイッチを必ず入れておきます。
特に凍結の恐れのある夜間は、便フタを閉じ暖房便座の温度を最高にし、室内暖房も併せて行います。

普通便座をご使用の場合は、室内を暖房するか、その他の方法でロータンク内や便器トラップ部の溜水を凍結させないようにしてください。
※ストーブやヒーターを近付け過ぎないでください。

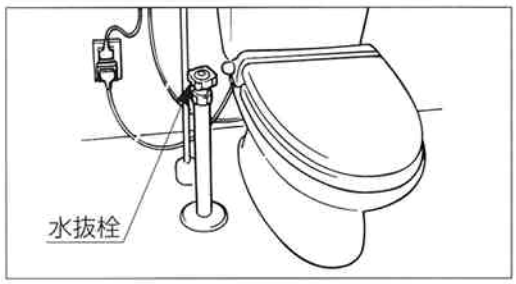


寒冷地仕様の流動式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

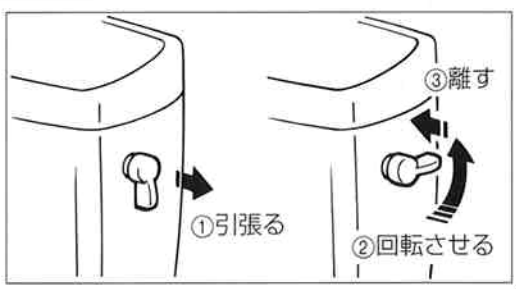
冷え込みの激しい場合は、流動ハンドルを回します。
ロータンク内の水が絶えず便器鉢内に放流され、凍結破損を防止します。

寒冷地仕様の水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 室内を暖房し、水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。（ヒーター水抜き併用方式の場合は室内暖房の必要はありません。）



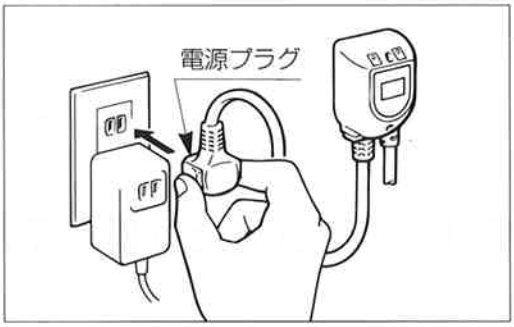
2. 洗浄ハンドルを引っぱりながら奥に回します。このとき、洗浄ハンドルが固定されて、ロータンク内の水が抜けます。
再使用時には、洗浄ハンドルを引っぱって降ろし、ロータンクへ給水します。
※流せるもん付の場合は、6ページをご覧ください。



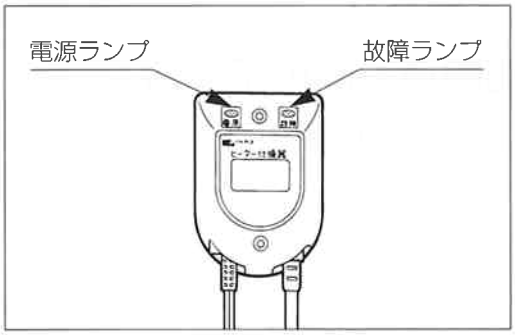
ヒーター付便器の凍結防止方法

ヒーター付便器の場合はさらにヒーターの電源プラグを差し込み、トラップ内の溜水を加熱しておいてください。

1. ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。



2. 電源ランプが点灯（オレンジ色）することを確認します。また、故障ランプ（赤色）が点灯していないことを確認してください。



注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談室へ連絡してください。

■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

- ●流動式便器の場合……－10℃以上
- ●ヒーター水抜併用式便器の場合……－15℃以上
- ●上記以外の便器……0℃以上

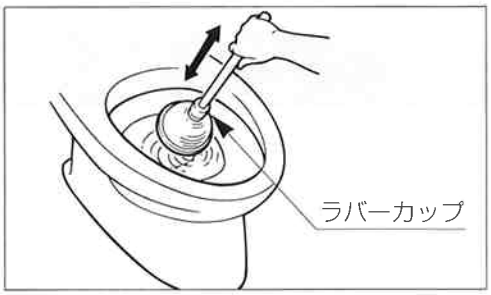
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■便器が詰まった場合

市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。
便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。



■ロータンクまたは便器下部に水滴がついた場合

結露により水滴が付く場合があります。
乾いた布でこまめにふき取ってください。（10ページ参照）

■脱臭機能の不具合

現　象	原　因	処　置
脱臭が作動しない。	電源コンセントに電気が来ていない。	停電および配線を確認する。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを完全に差し込む。
脱臭が作動していてもニオイが取れない。	脱臭カートリッジの寿命	脱臭カートリッジを交換する。（☞14ページ）

■自動便器洗浄の不具合（流せるもん付）

現　象	原　因	処　置
リモコンの流すスイッチを押しても便器洗浄を行わない。	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換します。
	電源コードが外れている。	電源コードを着座センサーに差し込みます。
洗浄水が止まらない。	洗浄ハンドルが途中で止まっている。（停電等による）	洗浄ハンドルを引っぱって降ろします。
	フロート弁の鎖が引っかかっている。	ロータンクフタを外して引っかかっている鎖を元に戻します。
	鎖の調節不足	鎖を調節します。（☞15ページ）

上記処置で故障が直らない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店、またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室・㈱INAXメンテナンスへご連絡ください。

アフターサービス

■修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの販売店、またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室にご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき
- ●《故障かなと思ったら》の処置でも直らなかった場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

［連絡していただきたい内容］

- ●おなまえ・おところ・電話番号
- ●商品名・型式番号・取付年月日
- ●故障内容・故障の状況
- ●訪問希望日

このときに右図を参考にして型式番号を確認し、ご連絡ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

この商品には、保証書が付いています。

- ●保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ●保証期間は取付日より1ヶ年です。
  - ※保証期間内は保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
  - ※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理致します。
    補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6ヶ年です。
    補修用性能部品とは商品の機能を維持するために必要な部品です。

●アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、取扱店または当社支社やお客さま相談室等（連絡先はご愛用フォルダーに記載）へお問い合わせください。

仕　様

品　名		アメージュM脱臭便器（流せるもん付）	アメージュM脱臭便器（流せるもん無）
最　大　定　格		AC100V・5.4W　50/60Hz	AC100V・5W　50/60Hz
便器洗浄方式・実容量		サイホン式・9.0L	
商　品　寸　法		幅　×　奥行　×　高さ 手洗付：490mm×763mm×990mm 手洗無：490mm×763mm×865mm	幅　×　奥行　×　高さ 手洗付：471mm×763mm×990mm 手洗無：471mm×763mm×865mm
商　品　質　量		約46kg（便器セット：約25kg、ロータンクセット：約21kg）	
脱臭機能	脱　臭　方　式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
	脱　臭　能　力	0.11m³／分	
	脱臭カートリッジ寿命	約7年	
	脱臭ユニットコード	0.5m	
着座センサー	検　知　方　式	赤外線による距離検知方式	
	最大検知距離	600±100mm	
	タイマー機能	使用後、60±10秒後に脱臭ファン停止	
電源プラグ	本　体　寸　法	縦83mm×横48mm×厚さ39mm	
	定　格　入　力	AC100V　50/60Hz	
	定　格　出　力	DC12V　0.8A	
	電　源　コ　ー　ド	1.8m	
＊流せるもん	本　体　寸　法	縦89mm×横67mm×厚さ30mm	—
	消　費　電　力	5.4W（DC 12V、0.45A）	—
	流せるもんコード	1.0m	—
＊リモコン	本　体　寸　法	縦80mm×横80mm×厚さ29mm	—
	電　　源	乾電池 単三、2本	—

＊流せるもん付の場合

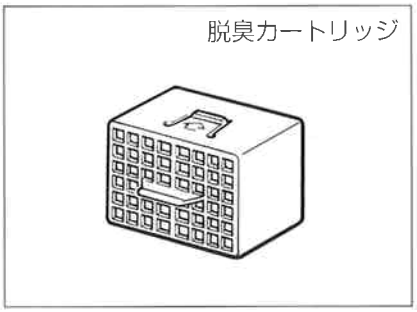
別売品のご案内

INAXでは、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■取替え用脱臭カートリッジ　品番：CWA-23

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。（☞14ページ）

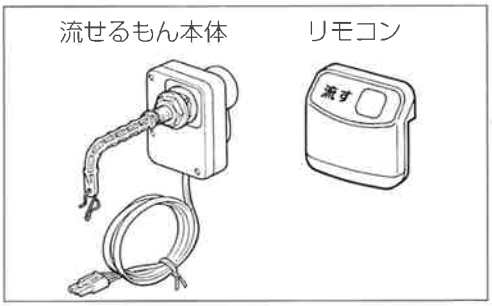


■シャワートイレお掃除クリーナー　品番：CWA-20

トイレ用洗剤や住宅用洗剤などで便座などの樹脂部をお手入れすると割れて事故につながることがあります。便座や便フタ、タンクカバーの樹脂部には、シャワートイレお掃除クリーナーをお使いください。（☞12ページ）

■流せるもん　品番：CWA-17

リモコンの流すスイッチを押せば、便座に座ったままでも楽な姿勢で便器鉢内の洗浄ができます。（☞5ページ）



別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めの販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。また、全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。（一部、取扱っていない場合もあります。）

●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。（ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794）宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*取付日・お客様・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番
アメージュM脱臭便器

保証期間
取付日より1ヶ年

保証書番号　　取付日　　年　月　日

お客さま　おなまえ　　様

おところ　　おでんわ　(　　)　-

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、「取扱説明書」掲載の、もよりの当社支社などにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   (1) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
   (2) 温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障及び損傷
   (3) お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
   (4) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
   (5) 消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
   (6) 本書の提示がない場合
   (7) 本書に取付日・お客さまのおなまえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店またはもよりの当社支社・営業所にお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

年月日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社INAX
愛知県常滑市鯉江本町　〒479
TEL:(0569) 35-2700(代表)

取扱店（店名・住所・TEL）